

CASBEE-建築(新築)2016年版
日本海冷凍魚株式会社 冷蔵庫新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
		Q 建築物の環境品質						2.7	
Q1 室内環境			0.30				3.4		
1 音環境		2.6	0.15				2.6		
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40						
1.2 遮音		3.0	0.40						
1 開口部遮音性能		3.0	0.60						
2 界壁遮音性能		3.0	0.40						
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-						
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-						
1.3 吸音		1.0	0.20						
2 温熱環境		3.0	0.35				3.0		
2.1 室温制御		3.0	0.50						
1 室温		3.0	0.38						
2 外皮性能		3.0	0.25						
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38						
2.2 湿度制御		3.0	0.20						
2.3 空調方式		3.0	0.30						
3 光・視環境		3.3	0.25				3.3		
3.1 昼光利用		3.0	0.30						
1 昼光率		3.0	0.60						
2 方位別開口			-						
3 昼光利用設備		3.0	0.40						
3.2 グレア対策		3.0	0.30						
1 昼光制御		3.0	1.00						
3.3 照度		2.0	0.15						
3.4 照明制御		5.0	0.25						
4 空気質環境		4.5	0.25				4.5		
4.1 発生源対策		5.0	0.50						
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆の建築資材を使用している(A-16)	5.0	1.00						
4.2 換気		4.0	0.30						
1 換気量		5.0	0.33						
2 自然換気性能	自然換気有効開口面積が居室面積の1/30以上(A-29)	4.0	0.33						
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33						
4.3 運用管理		4.0	0.20						
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50						
2 喫煙の制御		5.0	0.50						
Q2 サービス性能			0.30				2.8		
1 機能性		2.7	0.40				2.7		
1.1 機能性・使いやすさ		2.3	0.40						
1 広さ・収納性	一人当たりの執務スペースが12㎡以上(平面図参照)	5.0	0.33						
2 高度情報通信設備対応		1.0	0.33						
3 バリアフリー計画		1.0	0.33						
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30						
1 広さ感・景観		1.0	0.33						
2 リフレッシュスペース		5.0	0.33						
3 内装計画		3.0	0.33						
1.3 維持管理		3.0	0.30						
1 維持管理に配慮した設計		4.0	0.50						
2 維持管理用機能の確保		2.0	0.50						
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30				3.0		
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50						
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80						
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20						
2.2 部品・部材の耐用年数		3.1	0.30						
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20						
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20						
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		5.0	0.10						
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		4.0	0.10						
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20						
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20						
2.4 信頼性		3.2	0.20						
1 空調・換気設備		3.0	0.20						
2 給排水・衛生設備		4.0	0.20						
3 電気設備		3.0	0.20						
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20						
5 通信・情報設備		3.0	0.20						

3 対応性・更新性			2.8	0.30		-	2.8
3.1 空間のゆとり			2.6	0.30		-	
1 階高のゆとり			1.0	0.60		-	
2 空間の形状・自由さ			5.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30		-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40		-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20		-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20		-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10		-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10		-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20		-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40		-	2.1
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30		-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			1.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-		-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40		-	3.4
1 建物外皮の熱負荷抑制				-		-	-
2 自然エネルギー利用			3.0	0.13		-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.73	3.7	0.63		-	3.7
4 効率的運用			3.0	0.25		-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50		-	
集合住宅の評価				-		-	
4.1 モニタリング				-		-	
4.2 運用管理体制				-		-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		-	3.6
1 水資源保護			3.4	0.20		-	3.4
1.1 節水			4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.7	0.60		-	3.7
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		再生砕石 浄化槽 照明器具	5.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上げ材が容易に分別可能	5.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.20		-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用			5.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70		-	
1 消火剤			-	-		-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50		-	
3 冷媒			3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30		-	3.2
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率85%	3.6	0.33		-	3.6
2 地域環境への配慮			2.9	0.33		-	2.9
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25		-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25		-	
3 交通負荷抑制			4.0	0.25		-	
4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33		-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1 騒音			3.0	0.33		-	
2 振動			3.0	0.33		-	
3 悪臭			3.0	0.33		-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40		-	
1 風害の抑制			3.0	0.70		-	
2 砂塵の抑制				-		-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			4.0	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			4.0	0.70		-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			4.0	0.30		-	